

入場無料

性暴力について考える公開講座

「性暴力」というと
ある日突然、見知らぬ人から受けるレイプを思い浮かべる方が多いと思います。
しかし、性暴力にはさまざまなかたちがあり、身近な問題です。
心身ともに深い傷を受け、多くの方がそのことを誰にも言えず苦しい思いのまま
日々を過ごしています。
性暴力について一緒に考えてみませんか・・・。

2018年

3月13日

火

13:30-16:10 (13:00開場)

鳥取県立図書館 2階 大研修室

(鳥取市尚徳町101番地 電話:0857-26-8155)

第一部

■ 13:35~14:35

「過去とともに生きるということ
～性暴力サバイバーの闘いと回復～」

くどう ちえ

講師：工藤 千恵 氏 [性暴力サバイバー、一生ものの性教育マスター]

第二部

■ 14:40~15:40

「性暴力被害者に必要な支援とは」

こにし たかこ

講師：小西 聖子 氏 [武蔵野大学人間科学部人間科学科教授]

■ 15:50~16:10 質疑応答

主催：鳥取県性暴力被害者支援協議会

共催：鳥取県、鳥取県警察、公益社団法人とっとり被害者支援センター、公益社団法人鳥取県医師会、
鳥取県弁護士会、鳥取県臨床心理士会、鳥取市
<とっとり県民カレッジ連携講座>

お申込み
お問い合わせ

〒680-8570 鳥取市東町1丁目220番地
鳥取県くらしの安心推進課内

鳥取県性暴力被害者支援協議会 宛

電話：0857-26-7187

ファクシミリ：0857-26-8171

E-mail：jimukyoku@sar-tottori.org

郵送・ファクシミリ・電子メール・
電話のいずれかでお申し込みくだ
さい。(申込書は裏面)

申込〆切：3月2日(金)

工藤 千恵 氏

8歳で、誘拐・性暴力被害を経験。その後、非行・過呼吸症・対人恐怖症・自律神経失調症・フラッシュバックなど、様々な生き辛さや依存症などの困難を乗り越え、今を幸せに生きる。

現在は、被害当事者として声と、「回復の先にある光」を伝えるための講演会をはじめ、大人のための「一生ものの性教育講座」やランチ会などを開催するなど、全国を飛び回り活動中。

小西 聖子 氏

精神科医・臨床心理士。東京大学教育学部教育心理学科卒、筑波大学医学専門学群卒、同大学院博士課程修了、1992年「司法精神鑑定例における女性殺人者の研究 -その類型と供述の分析」により筑波大学医学博士。1977年から1980年まで東京都心理判定員。1993～1999年、東京医科歯科大学難治疾患研究所の犯罪被害者相談室で犯罪被害者の支援、対人暴力被害者の精神的なケアや周辺領域のマネジメントにかかわった。1999年より現職。専門は臨床心理学、トラウマ・ケア。現在、犯罪被害等による心的外傷後ストレス障害（PTSD）の治療に関する研究を行っている。

1998年エイボン女性年度賞受賞、2010年、『ココロ医者、ホンを診る 本のカルテ10年分から』で第8回毎日書評賞受賞、2014年日本犯罪学会賞受賞。

2004～2011年内閣府男女共同参画会議「女性に対する暴力に関する専門調査会」専門委員、2005～2015年内閣府犯罪被害者等施策推進会議委員、2015～2016年法制審議会臨時委員「刑事法（性犯罪関係）部会」委員など、政策の検討にも関わった。



性暴力被害者支援センターとっとり クローバーとっとり

あなたは一人ではありません。
わたしたちは、あなたの選択と同意のもとに
あなたが決定し、自らの力で
立ち上がっていく過程をサポートします。

相談ダイヤル

☎0120-946-328

〈〈県内専用フリーアクセス〉〉

相談日：毎週月・水・金曜日（年末年始は除く）
相談時間：11時～13時 / 18時～20時

【お問合せ】

性暴力被害者支援センターとっとり事務局（県庁くらしの安心推進課内）

TEL (0857) 26-7187（平日 9時～17時）

参加申込書

[申込先] 鳥取県性暴力被害者支援協議会

ファクシミリ：0857-26-8171

E-mail：jimukyoku@sar-tottori.org

申込〆切
3/2(金)

申込者氏名	
所属	
連絡先	

※記載いただいた個人情報 は本公開講座以外に使用しません。